

(2) 陸稲・麦類・いも類・雑穀類・豆類(種実)

■特に注釈が無い場合、対象雑草は以下のとおり

○トレファノサイド乳剤…一年生雑草(ツユクサ科、カヤツリグサ科、キク科、アブラナ科を除く)

○その他の農薬…一年生雑草

作物名	除草剤名と 10a 当り使用量	使用時期と使用方法	使用上の注意
陸稲	ゴーゴーサン乳 200～400mL	播種後出芽前(雑草発生前) 全面土壌散布	
麦類	トレファノサイド乳 200～300mL	播種後発芽前(雑草発生前)(収穫45日前まで) 全面土壌散布	登録は「麦類(小麦を除く)」と「小麦」と表記。 葉害を生じやすいので、 覆土深は2～3cmとする。
麦類(大麦、小麦を除く)	ゴーゴーサン乳 300～500mL	播種後出芽前(雑草発生前) 全面土壌散布	
小麦	ゴーゴーサン乳 300～500mL	播種後(雑草発生前)～小麦2葉期(イネ科雑草1葉期まで) 雑草茎葉散布又は全面土壌散布	
小麦 大麦	ザクサ液 300～500mL	①耕起又は播種前(雑草生育期) ②収穫7日前まで(雑草生育期) 雑草茎葉散布	②圃場内の周縁部
トウモロコシ	ロックス水 100～200 g	播種直後 全面土壌散布	スーパーサイト系では使用を避ける。
	ゴーゴーサン乳 200～400mL	播種後出芽前(雑草発生前) 全面土壌散布	
	バスタ液 300～500mL	収穫7日前まで(雑草生育期:播種前又は畦間処理) 雑草茎葉散布	
	ブルーシアFL ①40～50mL ②50～75mL	①3～5葉期(収穫45日前まで) ②6～7葉期(収穫45日前まで) 雑草茎葉散布又は全面散布	

(3) 野菜

■特に注釈が無い場合、対象雑草は以下のとおり

- トレファノサイド乳剤、トレファノサイド粒剤2.5…一年生雑草(ツユクサ科、カヤツリグサ科、キク科、アブラナ科を除く)

○その他の農薬…一年生雑草

作物名	除草剤名と 10 a 当り使用量	使用時期と使用方法	使用上の注意
野菜類	ラウンドアップマックス スロード液 200～500mL	耕起前まで(雑草生育期) 雑草茎葉散布	エダマメ、ハクサイ、キャベツ、アスパラガス、レタス、ネギ、タマネギ、ニンニク、ホウレンソウ、ニンジン、ダイコン、トマト、ピーマン、トウガラシ類、キュウリ、ナス、ピワ(葉)、オリーブ(葉)、タラノキ、薬用ニンジン、イモ類、豆類(種実)を除く
キャベツ	ラウンドアップマックス スロード 液200～500mL	耕起前又は定植5日前まで(雑草生育期) 雑草茎葉散布	直播の場合は露地栽培(無マルチ)で使用する。
	トレファノサイド乳 200～300mL	播種直後・定植前(植穴掘前) 全面土壌散布	
		定植直後 畦間土壌散布	
	トレファノサイド粒2.5 4～6kg	定植前(植穴掘前) 全面土壌散布	セル成型苗には使用しない。
	ゴーゴーサン乳 200～400mL	定植前(雑草発生前) 全面土壌散布	
ダイコン	ラウンドアップマックス スロード液 200～500mL	耕起前又は播種前まで(雑草生育期) 雑草茎葉散布	
		収穫5日前まで(雑草生育期: 畦間処理) 雑草茎葉散布	
	トレファノサイド乳 150～200mL	播種直後 全面土壌散布	露地栽培での登録。 マルチは使用しない。 砂土では低薬量で使用。 間引き菜・つまみ菜では使用しない。
	ザクサ液 300～500mL	収穫7日前まで(雑草生育期: 播種前又は畦間処理) 雑草茎葉散布	
ハクサイ	トレファノサイド乳 200～300mL	播種直後・定植前(植穴掘前) 全面土壌散布	直播栽培ではマルチは使用しない。
		定植直後 畦間土壌散布	

作物名	除草剤名と 10 a 当り使用量	使用時期と使用方法	使用上の注意
(ハクサイ)	バスタ液 300～500mL	収穫45日前まで(雑草生育期 耕起前・定植前又は畦間処理) 雑草茎葉散布	
	ザクサ液 300～500mL	収穫45日前まで(雑草生育期:播種・定植前又は畦間処理) 雑草茎葉散布	
ウド (根株養成圃)	ゴーゴーサン乳 400mL	定植後萌芽前(雑草発生前) 全面土壌散布 生育期(雑草発生前)(収穫60日前まで) 畦間土壌散布	
カボチャ	バスタ液 300～500mL	収穫30日前まで(雑草生育期 耕起前・定植前又は畦間処理) 雑草茎葉散布	
カボチャ (トンネル・マルチ栽培)	トレファノサイド粒2.5 ①2kg ②4～5kg	①定植7日以上前(植穴掘前)(マルチ前) 全面土壌散布 ②収穫45日前までの生育期(トンネル除去前) 畦間土壌散布	①定植数日前にマルチを切開し、気化した薬剤を飛散させてから定植。定植後、株周囲のマルチを本剤のかかっていない土壌でおさえる。キャップは使用しない。
キュウリ (露地栽培)	トレファノサイド乳 200～250mL	播種直後・定植前(植穴掘前) 全面土壌散布 定植直後 畦間土壌散布	砂質系土壌、地這栽培では使用しない。直播栽培では覆土を厚くし、播きツボをオガ屑等で覆ってから処理する。
スイカ	バスタ液 300～500mL	収穫前日まで(雑草生育期:耕起前・定植前又は畦間処理) 雑草茎葉散布	
スイカ (露地栽培)	トレファノサイド乳 200～300mL	定植キャップ後(但し、収穫45日前まで) 全面土壌散布	
スイカ (トンネル・マルチ栽培)	トレファノサイド乳 ①②200～300mL トレファノサイド粒2.5 ①2～4kg ②4～5kg	①定植前(植穴掘前)(マルチ前) 全面土壌散布 ②収穫45日前までの生育期(トンネル除去前) 畦間土壌散布	①定植数日前にマルチを切開し、気化した薬剤を飛散させてから定植。定植後、株周囲のマルチを本剤のかかっていない土壌でおさえる。キャップは使用しない。
ゴボウ (露地栽培)	トレファノサイド乳 200～300mL	播種直後 全面土壌散布	初期の本葉に薬害症状を生じることがあるが、生育には影響しない。

作物名	除草剤名と 10 a 当り使用量	使用時期と使用方法	使用上の注意
レタス・非結球レタス	ゴーゴーサン乳 200～400mL	定植前(雑草発生前) 全面土壌散布	セル成型苗には使用しない。
レタス・非結球レタス (露地栽培)	トレファノサイド乳 200～300mL	定植前(植穴掘前) 全面土壌散布	レタスは、6葉展開期以前では葉害の怖れがあるので使用しない。
		定植直後 畦間土壌散布	
セルリー	ロロックス水 100～150 g	定植後(定植7日後まで)(雑草発生前) 畦間土壌散布	高温時には使用しない。
ニンジン	ラウンドアップマックスロード液 200～500mL	耕起前又は播種前まで(雑草生育期) 雑草茎葉散布	
	トレファノサイド乳 200～300mL	播種直後 全面土壌散布	
	ゴーゴーサン乳 200～400mL	播種後出芽前(雑草発生前) 全面土壌散布	
	ロロックス水 ①100～200 g ②100～150 g	①播種直後 全面土壌散布 ②ニンジン3～5葉期(収穫30日前まで) (雑草発生始期) 全面土壌散布	高温時には使用しない。
トマト・ミニトマト (露地栽培)	トレファノサイド乳 200～300mL	定植直後 畦間土壌散布	
	トレファノサイド粒2.5 4～5kg	定植前(植穴掘前) 全面土壌散布	
ナス (露地栽培)	トレファノサイド乳 200～300mL	定植前(植穴掘前) 全面土壌散布	葉害のおそれがあるので、定植3日前までに使用する。
	トレファノサイド粒2.5 4～5kg	定植直後 畦間土壌散布	
		ラウンドアップマックスロード液 200～500mL	収穫前日まで(雑草生育期：畝間処理) 雑草茎葉散布
イチゴ	レンザー液 100～150g	定植後(収穫120日前まで) 全面土壌散布	後作にイネ科、マメ科、ウリ科、ナス科、アブラナ科の栽培は避ける。
ホウレンソウ	レンザー水 100～150 g	播種覆土直後 全面土壌散布	後作にイネ科、マメ科、ウリ科、ナス科、アブラナ科の栽培は避ける。覆土深は1 cm以上。
アスパラガス	ロロックス水 150～200 g	萌芽前(雑草発生前～発生始期) 全面土壌散布	

作物名	除草剤名と 10 a 当り使用量	使用時期と使用方法	使用上の注意
(アスパラガス)	ラウンドアップマックスロード液 200～500mL	収穫前日まで(雑草生育期：畝間処理) 雑草茎葉散布	
タマネギ	ラウンドアップマックスロード液 200～500mL	収穫7日前まで(雑草生育期：畝間処理) 雑草茎葉散布	春播、秋播栽培
タマネギ (本畑)	トレファノサイド乳 200～300mL	定植後(収穫75日前まで) 全面土壌散布	
	トレファノサイド粒2.5 4～5kg	定植前(植穴堀前)・ 定植後(収穫75日前まで) 全面土壌散布	中耕除草後に処理
		生育期(春期)(収穫75日前まで) 畦間土壌散布	
ショウガ	ゴーゴーサン細粒剤F 4～6kg	植付後萌芽前(雑草発生前) 全面土壌散布	
ネギ	バスタ液 300～500mL	収穫前日まで(雑草生育期耕起前・定植前又は畦間処理) 雑草茎葉散布	
	トレファノサイド乳 200～300mL	定植後雑草発生前(収穫30日前まで) 全面土壌散布	
	ロックス水 100～150 g	定植後 但し、収穫30日前まで(雑草発生前)畦間土壌散布	露地栽培での登録。
コンニャク	バスタ液 ①200～300mL ②300～500mL	①雑草生育期耕起前・植付前・植付後萌芽前 ②収穫30日前まで(雑草生育期畦間処理) 雑草茎葉散布	
サトイモ	トレファノサイド粒2.5 4～6kg	植付後(植付7日後まで) 全面土壌散布	サトイモの葉柄(ズイキ、イモガラ)を収穫する場合は「サトイモ(葉柄)」の登録内容に従うこと。
	バスタ液 300～500mL	収穫30日前まで(雑草生育期耕起前・植付前又は畦間処理) 雑草茎葉散布	
サツマイモ	トレファノサイド粒2.5 3～4kg	挿苗前雑草発生前 全面土壌散布	薬害をさけるために活着するまでに使用する。また、有機質含量の少ない砂質系土壌では薬害を生じるおそれがあるので使用しない。
	トレファノサイド乳 200～300mL	挿苗後雑草発生前(収穫60日前まで) 全面土壌散布又は畦間土壌散布	

作物名	除草剤名と 10 a 当り使用量	使用時期と使用方法	使用上の注意
(サツマイモ)	バスタ液 200～500mL	収穫14日前まで(雑草生育期耕起前・挿苗前又は畦間処理) 雑草茎葉散布	
ジャガイモ	ゴーゴーサン乳 200～300mL	植付後萌芽前(雑草発生前) 全面土壌散布	
	ロロックス水 100～200 g	植付直後～萌芽前 全面土壌散布	
ヤマノイモ	トレファノサイド乳 595ド乳 200～300m	植付直後 全面土壌散布	
	ロロックス水 100～200 g	生育初期(植付30日後まで) 畦間土壌散布	薬液がかかると薬害を生じるので、作物にかからないようにする。
	バスタ液 300～500mL	収穫30日前まで(雑草生育期 耕起前・植付前又は畦間処理) 雑草茎葉散布	
ダイズ	ロロックス水 100～200 g	播種直後～出芽前(雑草発生前～発生始期) 全面土壌散布	
	トレファノサイド乳 200～300mL	播種後出芽前 全面土壌散布	マルチ栽培では薬害を避けるため使用しない。
	ラウンドアップマックスロード液 200～500mL	収穫前日まで(雑草生育期：畦間処理) 雑草茎葉散布	
ラッカセイ	トレファノサイド乳 200～300mL	播種直後 全面土壌散布	
	ゴーゴーサン乳 200～300mL	播種後出芽前(雑草発生前) 全面土壌散布	
エダマメ	トレファノサイド乳 200～300mL	播種前・播種後出芽前・定植前(植穴掘前) 全面土壌散布 生育期(但し、収穫45日前まで) 畦間土壌散布	マルチ栽培では薬害を避けるため使用しない。
	トレファノサイド乳粒2.5 4～6kg	生育期(収穫45日前まで) 畦間土壌散布	
	ラウンドアップマックスロード液 200～500mL	収穫前日まで(雑草生育期：畝間処理) 雑草茎葉散布	

(4) 果樹

■特に注釈が無い場合、対象雑草は以下のとおり

○トレファノサイド乳剤…一年生雑草(ツユクサ科、カヤツリグサ科、キク科、アブラナ科を除く)

○その他の農薬…一年生雑草

作物名	除草剤名と 10 a 当り使用量	使用時期と使用方法	使用上の注意
果樹類 (カンキツを除く)	タッチダウン i Q 液 (一年生) 250～500mL (多年生) 500～1000mL (スギナ) 1500～2000mL	収穫5日前まで (雑草生育期) 雑草茎葉散布	雑草草丈30cm以下(一年生雑草、多年生雑草)
	ラウンドアップマックスロード液 (一年生) 200～500mL (多年生) 500～1000mL (マルバツユクサ) 500～1500mL (スギナ) 1500～2000mL	収穫7日前まで (雑草生育期) 雑草茎葉散布	
ナシ	トレファノサイド乳 300～400mL	春～秋期雑草発生前 (収穫30日前まで) 全面土壌散布	ハウス栽培では使用しない。
	ロックス水 300 g	雑草発生前～発生始期 (収穫90日前まで) 全面土壌散布	
	バスタ液 (一年生) 300～500mL (多年生) 500～1000mL	収穫前日まで (雑草生育期) 雑草茎葉散布	
リンゴ	トレファノサイド乳 300～400mL	春期雑草発生前 (収穫150日前まで) 全面土壌散布	ハウス栽培では使用しない。
	ロックス水 300 g	雑草発生前～発生始期 (収穫30日前まで) 全面土壌散布	
	バスタ液 (一年生) 300～500mL (多年生) 500～1000mL	収穫21日前まで (雑草生育期) 雑草茎葉散布	
ブルーベリー	バスタ液 (一年生) 300～500mL (多年生) 500～1000mL	収穫前日まで (雑草生育期) 雑草茎葉散布	
イチジク	バスタ液 300～500mL	収穫前日まで (雑草生育期) 雑草茎葉散布	
カキ	ロックス水 300 g	雑草発生前～発生始期 (収穫30日前まで) 全面土壌散布	
	バスタ液 (一年生) 300～500mL (多年生) 500～1000mL	収穫前日まで (雑草生育期) 雑草茎葉散布	

作物名	除草剤名と 10 a 当り使用量	使用時期と使用方法	使用上の注意
キウイフルーツ	バスタ液 (一年生) 300～500mL (多年生) 500～750mL	収穫21日前まで (雑草生育期) 雑草茎葉散布	
クリ	バスタ液 (一年生) 300～500mL (多年生) 500～750mL	収穫30日前まで (雑草生育期) 雑草茎葉散布	
ブドウ	トレファノサイド乳 300～400mL	春～秋期雑草発生前 (収穫30日前まで) 全面土壌散布	ハウス栽培では使用しない。
	バスタ液 (一年生) 300～500mL (多年生) 500～1000mL	収穫前日まで (雑草生育期) 雑草茎葉散布	
カンキツ	バスタ液 (一年生) 300～500mL (多年生) 500～1000mL	収穫21日前まで (雑草生育期) 雑草茎葉散布	

(5) 花き

■特に注釈が無い場合、対象雑草は以下のとおり

○トレファノサイド乳剤…一年生雑草(ツクサ科、カヤツリグサ科、キク科、アブラナ科を除く)

作物名	除草剤名と 10 a 当り使用量	使用時期と使用方法	使用上の注意
花き類・ 観葉植物	バスタ液 300～500mL	雑草生育期畦間処理 雑草茎葉散布	対象雑草：一年生雑草
キク	クロレートS粒 20～40kg	収穫後 全面土壌散布	対象雑草：スギナ
キク (露地)	トレファノサイド乳 200～300mL	定植後 畦間土壌散布	
チューリップ	トレファノサイド乳 200～300mL	植付後～萌芽前 全面土壌散布	
ユリ	トレファノサイド乳 200～300mL	植付後～萌芽前 全面土壌散布	

(6) 樹木類

作物名	雑草名	除草剤名と 10 a 当り使用量	使用時期と使用方法	10 a 当り希釈水量 及び使用上の注意
樹木類	一年生雑草	スナップショット ① 6～8kg ② 15～20kg	①植付後(雑草発生前) ②植付活着後(秋期 雑草発生前) 土壌表面散布	

作物名	雑草名	除草剤名と 10 a 当り使用量	使用時期と使用方法	10 a 当り希釈水量 及び使用上の注意
(樹木類)	① 一年生雑草 ② 多年生雑草 ③ マルバツユクサ ④ スギナ ⑤ 雑かん木	ラウンドアップマックスロード液 ① 200～500mL ② 500～1000mL ③ 500～1500mL ④ 1500～2000mL ⑤ 原液	①～④ 雑草生育期 雑草茎葉散布 ⑤ 伐採直後 切株塗布処理	①～④ 通常散布 50～100 L 少量散布 25～50 L ⑤ 切り口直径：塗布量（5 cm 以下：2 mL、5～10 cm：3～6 mL、10 cm 以上：10 mL 以上）
樹木類	一年生雑草（ツユクサ科、カヤツリグサ科、キク科、アブラナ科を除く）	トレファノサイド乳 200～300mL	植付後、生育期（雑草発生前） 畦間・株間土壌散布	100 L
		トレファノサイド粒 2.5 4～5kg	植付後、生育期（雑草発生前） 畦間・株間土壌散布	
	竹類	クロレート S 粒 10～20g/本	竹類生育期 節間に穴を開けそのまま投入	適用場所：林地、放置竹林
林木	クズ・フジ等のつる類	ラウンドアップマックスロード液 原液又は2倍液	生育期 つる注入処理	つる径によって使用量は異なる。
林木（林地、放置竹林、畑地）	竹類	ラウンドアップマックスロード液 原液	夏～秋期 竹稈注入処理	5～10mL/本
林木苗（スギ、ヒノキ、アカマツ、カラマツ）	一年生雑草（ツユクサ、カヤツリグサ、キク、アブラナ科を除く）	トレファノサイド乳 300mL	播種床： 播種後～生育中 床替床： 床替後～生育中 全面土壌散布	100 L
エゾマツ、カラマツ、カンバ、スギ、トドマツ、ヒノキ、ブナ、マツ類 ① 地ごしらえ ② 下刈り	一年生雑草、多年生雑草、雑かん木	クロレート S 粒 ① 15～25kg ② 10～20kg クサトール F P 粒 ① 15～25kg ② 10～20kg デゾレート A Z 粒 ① 15～25kg ② 10～20kg	雑草生育期（積雪時及び土壌凍結時を除く） 全面均一散布	強酸や反応性物質（肥料農薬、油、有機物質など）と同じ場所での保管や混用を避ける。 助燃性があり火気に注意する。
スギ（下刈り）	① クズ ② アレチノギク、カラムシ、シシウド等の大型雑草 ③ ススキ	アーゼラン液 ① 10倍 ② ③ 20倍	① 6～7月 ② 雑草発生前 雑草茎葉散布 ③ 6月 雑草茎葉散布（局所処理）	① 50 L ② 60 L ③ 300mL/株 径30cmの株

* 林地での除草剤の使用は、樹種や対象雑草により使用基準が異なることがあるので、容器に記載されている内容を確認のうえ使用すること。

(7) 特用作物

■特に注釈が無い場合、対象雑草は以下のとおり

○トレファノサイド乳剤、トレファノサイド粒剤2.5…一年生雑草(ソユクサ科、
カヤツリグサ科、キク科、アブラナ科を除く)

○その他の農薬…一年生雑草

作物名	除草剤名と 10a 当り使用量	使用時期と使用方法	使用上の注意
チャ	トレファノサイド乳 300～400mL トレファノサイド粒2.5 4～6kg	一番茶発芽前、摘採 後(雑草発生前)(摘 採40日前まで) 全面土壌散布	茶葉にかからぬように注 意する。
	バスタ液 300～500mL	摘採7日前まで(雑 草生育期畦間処理)	
	ザクサ液 300～500mL	雑草茎葉散布	
チャ(幼 木)	ザクサ液 300mL	雑草生育期:畦間・ 株間処理 雑草茎葉散布	樹高30cm以上、雑草の草 丈20cm以下で処理。処理 当年には摘採しない。

(8) 飼料作物

作物名	雑草名	除草剤名と 10a 当り使用量	使用時期と使用方法	使用上の注意及び 10a 当たり希釈水量
飼料用 トウモ ロコシ	一年生及 び多年生 雑草	ラウンドアップマッ クスロード液 200～500mL	出芽前まで(雑草生 育期) 雑草茎葉散布	通常散布:50 ～ 100 L 少量散布:5～50 L
	一年生雑 草	アルファード液 ①100～150mL ②150mL	①トウモロコシ3～7葉 期(収穫45日前まで) ②トウモロコシ6～7葉 期(収穫45日前まで) 雑草茎葉散布または 全面散布	100～150 L
		ゴーゴーサン乳 200～400mL	播種後出芽前(雑草 発生前) 全面土壌散布	70～150 L
	一年生雑 草	ラッソー乳 300～600mL	播種後出芽前 全面土壌散布	100 L
		バスタ液剤 300～500mL	収穫7日前まで(雑草 生育期:播種前又は 畦間処理) 雑草茎葉散布	100～150 L
		ブルーシアFL ①40～50mL ②50～75mL	①3～5葉期(収穫45 日前まで) ②6～7葉期) 収穫45 日前まで) 雑草茎葉散布又は全 面散布	①通常散布:50～ 100 L、少量散布: 25～50 L ②100～150 L

作物名	雑草名	除草剤名と 10 a 当り使用量	使用時期と使用方法	使用上の注意及び 10a当たり希釈水量
(飼料用 トウモロコシ)	一年生雑草及び多年生イネ科雑草	ワンホープ乳 100～150mL	トウモロコシ3～5葉期(収穫30日前まで) 雑草茎葉散布又は全面散布	70～100 L
	一年生雑草(イネ科を除く)	バサグラン液(ナトリウム塩) 100～150mL	トウモロコシの生育期(雑草の3～6葉期)(収穫50日前まで) 雑草茎葉散布又は全面散布	70～100 L
	一年生及び多年生広葉雑草	シャドー水 50～75g	一年生及び多年生広葉雑草2～5葉期(トウモロコシ3～5葉期) 雑草茎葉散布	100 L
ソルガム	一年生雑草	ゴーゴーサン乳 ①300～400mL ②300mL	①播種後出芽前(雑草発生前) 全面土壌散布 ②ソルガム3葉期(雑草発生前～発生始期) 雑草茎葉散布又は全面土壌散布	①70～150 L ②70～100 L
麦類	一年生雑草	サターンバアロ乳 500～750mL	播種直後～麦出芽前 全面土壌散布	壤土～埴土 播種深度が浅い場合や砂土の場合、薬害のおそれがある。 70～100 L
牧草	ギンギシ類及びキク科の雑草	アージラン液 ①400～600mL ②50～80倍液とし雑草が充分濡れる量	①秋～春期(9～5月)ギンギシ類の展葉時期(採草14日前まで) 雑草茎葉散布又は全面散布 ②早春～秋期(1～11月)ギンギシ類の展葉時期 雑草茎葉散布(局所処方)	牧草・草地 ①80～100 L ②25mL/株 又は100mL/m ² (1) 夏期(7～8月中旬)のギンギシ類対象の全面散布は避ける。 (2) 散布後14日間の放牧、採草は行わない。 (3) 局所散布した周辺の牧草は飼料にしない。

作物名	雑草名	除草剤名と 10a 当り使用量	使用時期と使用方法	使用上の注意及び 10a 当り希釈水量
(牧草)	雑かん木	ラウンドアップマックスロード液 原液	伐採直後 切株塗布処理	切り口直径：塗布量、5 cm 以下：2 mL、5～10cm：3～6mL、10cm 以上：10mL以上
牧草： 牧野・草地(更新・造成)	一年生雑草及び多年生雑草	ラウンドアップマックスロード液 200～500mL	耕起前まで(雑草生育期) 雑草茎葉散布	少量散布 25～50 L
			耕起整地後～播種当日まで(雑草発生揃期) 雑草茎葉散布	少量散布 5～50 L
牧草： 牧野・草地(更新)	①一年生雑草 ②多年生雑草 ③一年生及び多年生雑草	タッチダウン i Q ①300～500mL ②500～750mL ③200～500mL	①②：耕起10日以前(雑草生育期) ③：播種10日前～播種当日(耕起整地後：雑草発生揃期) 雑草茎葉散布	25～100 L

(9) コケ類に登録のある除草剤

作物名	雑草名	除草剤名と 10a 当り使用量	使用時期と使用方法	使用上の注意及び 10a 当り希釈水量
西洋芝 (ベントグラス)	コケ類	ダイヤモンド水 200～600 g	秋冬期芝生育期(コケ類生育期) 雑草茎葉散布	2回以内 200～300 L
		タスク39DF 30～60 g	芝生育期(コケ生育期) 雑草茎葉散布	6回以内 100～200 L
樹木等	ゼニゴケ	ダイロン微粒剤 5～10kg	生育期 植栽地を除く樹木等の周辺地に雑草茎葉散布及び土壌散布	3回以内 公園、庭園、堤とう、駐車場、道路、運動場、宅地、のり面等

(10) 「樹木等*」に登録のある主要な除草剤

*：樹木等…「植栽地を除く樹木等の周辺地(公園や駐車場、道路、庭園等の街路樹や庭園樹、立木等の周辺)」に使用できることを示す作物名

除草剤名	雑草名	使用時期と 使用方法	10a 当り使用量	10a 当り 希釈水量
アーザラン液	①一年生雑草 ②多年生イネ科雑草 ③多年生広葉雑草 ④クズ	雑草生育期 植栽地を除く樹木等の周辺地に雑草茎葉散布	①1000～2000mL ②3000～5000mL ③2000～3000mL ④5000mL	100～200 L

除草剤名	雑草名	使用時期と 使用方法	10 a 当り使用量	10 a 当り 希釈水量
クロレートS粒	①スギナ ②竹類 ③一年生及び多年生雑草	①秋冬期 ②竹類生育期 ③雑草生育初期～中期 植栽地を除く樹木等の周辺地に①②全面土壌散布③雑草茎葉散布	①30～40kg ②45～60kg ③15～25kg	
サンダーボルト007FL	①一年生及び多年生雑草 ②スギナ	①雑草生育期(草丈30cm以下) ②雑草生育期 植栽地を除く樹木等の周辺地に雑草茎葉散布	①500～1000mL ②1000～4000mL	100 L
ダイロン水	一年生雑草	①雑草発生前 植栽地を除く樹木等の周辺地に全面土壌散布 ②雑草生育期 植栽地を除く樹木等の周辺地にノニオン系展着剤を添加して雑草茎葉散布	①60～200 g ②200～400 g	100 L
ハービック粒	一年生及び多年生雑草	①雑草発生前～生育初期 ②生育中期 植栽地を除く樹木等の周辺地に雑草茎葉散布又はたは全面土壌散布	①10～15kg ②15～20kg	
ハイパーX水	①一年生雑草 ②多年生雑草	①雑草発生前～生育期 ②雑草生育初期～中期 植栽地を除く樹木等の周辺地に雑草茎葉散布又は全面土壌散布	①300～600 g ②1000 g	①100～200 L ②200～300 L
バスタ液	①一年生雑草 ②多年生雑草	雑草生育期 植栽地を除く樹木等の周辺地に雑草茎葉散布	①500～1000mL ②1000～2000mL	100～200 L
バックアップ粒	①一年生雑草 ②多年生雑草	雑草生育初期 植栽地を除く樹木等の周辺地に全面土壌散布	①10～20kg ②20～30kg	

除草剤名	雑草名	使用時期と 使用方法	10 a 当り使用量	10 a 当り 希釈水量
ラウンド アップマ ックスロ ード液	①一年生雑草 ②多年生雑草 ③スギナ ④ススキ、ヒレハリソ ウ、クズ等のつる性 多年生雑草、ササ 類、雑かん木	①～④雑草生育期 植栽地を除く樹木 等の周辺地に雑草 木茎葉散布	①200～500mL ②500～1000mL ③1500～2000mL ④1000～2000mL	通常散布 50～100 L 少量散布 25～ 50 L
	⑤雑かん木 ⑥クズ・フジ等の つる類	⑤雑かん木生育期 立木注入処理 ⑥生育期 つる注入処理 原液又は2倍液	⑤1mL/ヶ所、幹周7～8cm間隔 地上30cm直径:ヶ所数…10cm以下: 2～3、10～15cm:4～6、16～ 20cm:7～9、20cm以上:10以上 ⑥つる径(cm):使用量(mL/株)… ～2.0:0.5、～3.0:1.0、～4.0: 1.5、～5.0:2.0、5.1～:3.0	
レグロッ クス液	一年生雑草	雑草生育期 植栽地を除く樹木 等の周辺地に雑草 茎葉散布	300～500mL	70～100 L